

平成 18 年度 特定領域研究「統合脳」夏のワークショップ 合同班会議、統合シンポジウム、サテライトシンポジウム

日時： 平成 18 年 8 月 22 日（火）～ 25 日（金）

8 月 22 日（火）	09:00-18:00	第 3,5 領域班会議
	16:00-18:00	第 1 領域班会議
	19:00-22:00	ポスターセッション [第 1,3,5 領域領域、支援班]
8 月 23 日（水）	09:00-12:00	統合シンポジウム [海馬、大脳基底核、分子神経イメージング]
	13:00-17:00	全体ワークショップ（教育文化会館大ホール）
	18:30-20:30	懇親会
8 月 24 日（木）	09:00-18:00	第 2,4 領域班会議
	19:00-22:00	ポスターセッション [第 2,4 領域、脳と心のメカニズム]
8 月 25 日（金）	09:00-12:00	サテライトシンポジウム [脳と心のメカニズム]

場所： 北海道厚生年金会館（ウェルシティ札幌）
札幌市教育文化会館（全体ワークショップのみ）

主催： 文部科学省特定領域研究「統合脳」5 領域

問い合わせ先：

「統合脳」実行委員会 小松英彦（生理学研究所）komatsu@nips.ac.jp

「統合脳」事務局 高田昌彦（東京都神経科学総合研究所）takada@tmin.ac.jp

ホームページ <http://www.togo-nou.nips.ac.jp/>

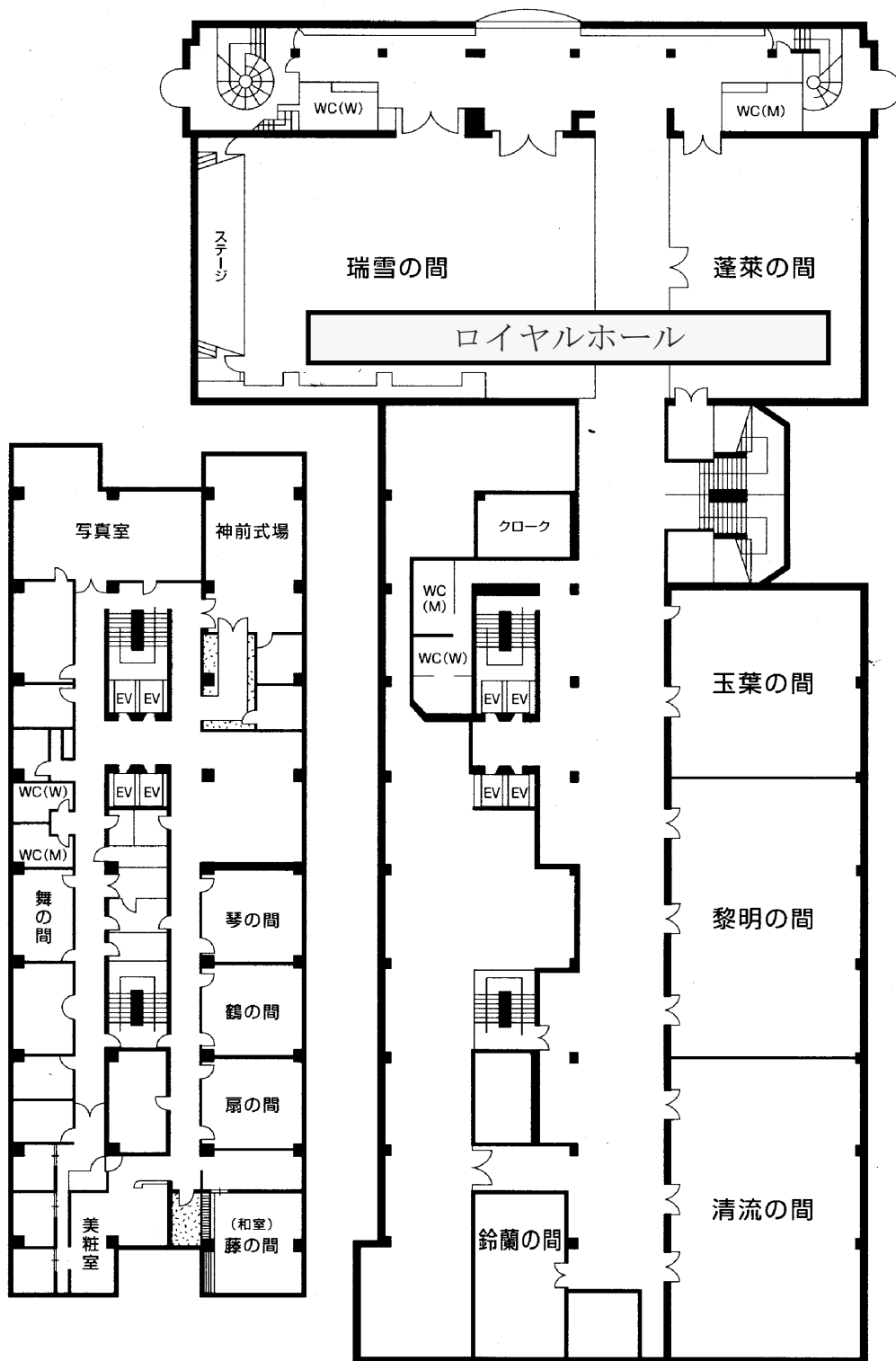
平成 18 年度「統合脳」夏のワークショップ会場案内

8月22日(火)	09:00-18:00	第3領域班会議	瑞雪
		第5領域班会議	蓬萊
	16:00-18:00	第1領域班会議	清流
	19:00-22:00	第1領域及び支援班ポスターセッション	玉葉
		第3、5領域ポスターセッション	黎明
8月23日(水)	09:00-12:00	統合シンポジウム	
		海馬	蓬萊
		大脳基底核	清流
		分子神経イメージング	瑞雪
	13:00-17:00	全体ワークショップ	教育文化会館 (大ホール)
	18:30-20:30	懇親会	ロイヤルホール
8月24日(木)	09:00-18:00	第2領域班会議	蓬萊
		第4領域班会議	瑞雪
	19:00-22:00	第2、4領域ポスターセッション	黎明
		脳と心のメカニズムポスターセッション	玉葉
8月25日(金)	09:00-12:00	サテライトシンポジウム (脳と心のメカニズム)	瑞雪

8月23日(水) 午後の全体ワークショップのみ、「教育文化会館大ホール」で行われます。
その他のセッションは、「厚生年金会館」で行われます。



厚生年金会館会場見取り図



4階

3階

8月22日(火)

第3,5領域班会議

第3領域 会場：瑞雪

第5領域 会場：蓬莱

9:00 ~ 18:00

第1領域班会議

会場：清流

16:00 ~ 18:00

ポスターセッション

第1領域、支援班 会場：玉葉

第3,5領域 会場：黎明

19:00 ~ 22:00

8月22日(火)午前、午後 合同班会議 第1部

(第3領域班会議、第5領域班会議の2つの班会議が併行して行われ、
夕方、第1領域班会議が行われます)

第3領域 「神経回路機能」

09:00-09:05 領域代表挨拶(狩野方伸)

09:05-10:35 A01 神経回路の形成(その1)(座長 五十嵐道弘)

09:05-09:20 仲村 春和(東北大・生命科学)

「中脳視蓋の層形成と回路形成機構の解析」

09:20-09:35 村上 富士夫(大阪大・生命機能)

「脳の構築と神経回路形成における細胞移動の役割」

09:35-09:50 坂野 仁(東京大・理)

「嗅神経回路形成の分子機構」

09:50-10:05 寺島 俊雄(神戸大・医)

「上丘の層形成と視覚性神経回路形成に関するリーリンシグナル伝達系の機能」

10:05-10:20 田中 英明(熊本大・医)

「新規神経ガイダンス分子 Draxin 遺伝子欠損マウスの解析」

10:20-10:35 玉巻 伸章(熊本大・医)

「大脳皮質神経細胞多様性出現のメカニズムをショウジョウバエに学ぶ」

10:35-10:55 休憩

10:55-12:10 A01 神経回路の形成(その2)(座長 村上富士夫)

10:55-11:10 尾藤 晴彦(東京大・医)

「シナプスの機能的・形態的リモデリング機構の探索」

11:10-11:25 五十嵐 道弘(新潟大・医歯学)

「成長円錐のシナプス形成に関与する Ca²⁺センサーの探索と機能解析」

11:25-11:40 石塚 徹(東北大・生命科学)

「海馬スライス培養を用いた神経ネットワークの活動依存的な神経新生過程の解析」

11:40-11:55 小池 正人(大阪大・医)

「神経回路形成におけるオートファジー・リソソーム系の
役割の分子細胞生物学的解析」

11:55-12:10 匂坂 敏朗(大阪大・医)

「インテグリンのリサイクリングによる神経軸索の伸長機構」

12:10-13:30 昼食 (同時に総括班・計画班員会議)

13:30-14:45 A02 神経回路の機能的成熟 (その1)(座長 畠義郎)

13:30-13:45 渡辺 雅彦(北海道大・医)

「競合的シナプス回路成熟の構造基盤と分子基盤」

13:45-14:00 狩野 方伸(大阪大・医)

「発達期小脳における神経活動依存的なシナプス機能成熟」

14:00-14:15 高森 茂雄(東医歯大・医歯)

「自発的グルタミン酸放出のシナプス形成・成熟・伝達効率への寄与の解明」

14:15-14:30 大塚 稔久(富山大・医)

「神経回路網の成熟過程におけるアクティブ・ゾーンの役割の解明」

14:30-14:45 西 真弓(京都府立医大・医)

「シナプスから核へのシグナル伝達」

14:45-15:10 休憩

15:10-16:25 A02 神経回路の機能的成熟 (その2)(座長 渡辺雅彦)

15:10-15:25 畠 義郎(鳥取大・医)

「視覚野神経回路の経験依存的形態変化」

15:25-15:40 真鍋 俊也(東京大・医科研)

「シナプス伝達のメタ可塑性を制御する分子機構の解明」

15:40-15:55 平井 宏和(群馬大・医)

「デルタ2グルタミン酸受容体の細胞内信号伝達経路の解明」

15:55-16:10 安田 浩樹(大阪大・医)

「カンナビノイド受容体の神経回路発達における役割」

16:10-16:25 前島 隆司(生理研)

「神経回路の機能的発達に対する
内因性カンナビノイドを介するシナプス可塑性の寄与」

16:25-16:50 休憩

16:50-17:50 A03 神経回路の特異的機能発現(座長 岡 良隆)

16:50-17:05 大森 治紀(京都大・医)

「聴覚情報の特徴抽出と統合機構の解析」

17:05-17:20 澁木 克栄(新潟大・脳研)

「透明頭蓋マウス大脳皮質における高次感覚情報処理機構」

- 17:20-17:35 小田 洋一（名古屋大・理）
「後脳の分節構造にもとづいて構築された機能回路」
- 17:35-17:50 金田 勝幸（生理研）
「黒質網様部および上丘局所回路内抑制性ニューロンの機能的相違」
- 17:50-19:00 休憩、夕食
- 19:00-22:00 ポスター発表、討論

第5領域 「病態脳」

- 午前の部 9:00-11:50 < Hot topics >
- 09:00-09:10 開会の挨拶
- 09:10-09:40 1. 富田 泰輔（東京大学大学院薬学系研究科）
「膜内配列切断酵素 セクレターゼの構造と活性」
- 09:40-10:10 2. 岩田 修永（独立行政法人理化学研究所）
「ネプリライシンの活性低下に伴うシナプス機能障害と発現調節機構の解析」
- 10:10-10:20 休憩
- 10:20-10:50 3. 上原 孝（北海道大学大学院薬学研究院）
「蛋白質ジスルフィドイソメラーゼのS-ニトロシル化：
孤発性神経変性疾患との関わり」
- 10:50-11:20 4. 倉永 英里奈（東京大学大学院薬学系研究科）
「細胞死を誘導しないカスパーゼの活性化機構とその神経系での生理機能」
- 11:20-11:50 5. 岡澤 均（東京医科歯科大学難治疾患研究所）
「転写障害による非典型的な神経細胞死」
- 11:50-13:30 昼食
- 午後の部 13:30-17:30 < 精神疾患にどうアプローチするか >
- 13:30-14:00 6. 西川 徹（東京医科歯科大学大学院）
「統合失調症の分子異常への薬理学・発達神経科学的アプローチ」
- 14:00-14:30 7. 岡崎 祐士（東京都立松沢病院）
「パニック障害の遺伝子探索」
- 14:30-15:00 8. 松本 直通（横浜市立大学大学院医学研究科）
「染色体微細構造異常からの精神疾患へのアプローチ」
- 15:00-15:30 9. 加藤 忠史（独立行政法人理化学研究所）
「双極性障害のモデル動物」

- 15:30-16:00 休憩
- 16:00-16:30 10 . 尾崎 紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科)
「DISC1 結合蛋白を標的とした統合失調症の病態研究」
- 16:30-17:00 11 . 須原 哲也 (独立行政法人放射線医学総合研究所)
「分子イメージングによる精神疾患へのアプローチ」
- 17:00-17:30 パネルディスカッション
- 17:30-19:30 夕食
- 19:30-22:00 ポスターセッション

8月22日(火)夜 ポスターセッション 第1部

(第1,3,5領域、支援班のポスター発表が併行して行われます)

第1領域 「統合脳」

- 1-01 立花 政夫 (東京大学・大学院人文社会系研究科)
「周期的同期的スパイク発火のデコーディング機構に関する研究」
- 1-02 山中 章弘 (筑波大学・大学院人間総合科学研究科)
「睡眠覚醒サイクル発現におけるオレキシン神経の役割について」
- 1-03 笠井 清登 (東京大学・医学部附属病院)
「神経画像と分子遺伝の組み合わせによる人格特性の脳基盤の統合的解明」
- 1-04 岡村 信行 (東北大学・大学院医学系研究科)
「分子イメージングおよび脳機能イメージングを用いた認知機能障害発現機構の解明」
- 1-05 奥野 浩行 (東京大学・大学院医学系研究科)
「神経活動依存的遺伝子発現レポーターによる神経回路可視化法の開発と応用」
- 1-06 井上 貴文 (東京大学・医科学研究所)
「小胞体膜タンパクの樹状突起とスパインでの挙動」
- 1-07 古田 貴寛 (京都大学・大学院医学研究科)
「新しく見つかった線条体投射ニューロン群の関わる神経回路の構造と機能についての研究」
- 1-08 紙野 晃人 (大阪大学・大学院医学系研究科)
「ダイナミンスーパーファミリー遺伝子群による認知機能の維持機構」
- 1-09 喜多村 和郎 (大阪大学・大学院医学系研究科)
「新しいインビボ可視化パッチクランプ法の開発による覚醒マウスにおけるホールセル記録」

- 1-10 原田 武志（神戸大学・大学院医学系研究科）
「大脳皮質視覚野の臨界期可塑性における MAP キナーゼの in vivo での機能解析」
- 1-11 三木 健寿（奈良女子大学・生活環境学部）
「恐怖や不安記憶の再現が海馬ニューロン活動と交感神経活動に及ぼす影響」
- 1-12 伊藤 眞一（島根大学・医学部）
「ヒト中心溝吻腹側の痛覚関連野に対応するラット皮質領野の検索」
- 1-13 星 英司（玉川大学・学術研究所）
「神経生理学的手法と神経解剖学的手法を用いた認知と運動の統合過程の解析」
- 1-14 北野 勝則（立命館大学・理工学部）
「大脳基底核間接路の神経回路ダイナミクスと脳深部電気刺激療法の機序の解明」
- 1-15 吉田 正俊（生理学研究所）
「ニホンザル盲視モデルにおける視覚的意識に関する認知神経科学的研究」
- 1-16 岡ノ谷 一夫（理化学研究所・脳科学総合研究センター）
「状況と発声の統合から意味の創出へ：原型言語の脳機構」
- 1-17 磯村 宜和（理化学研究所・脳科学総合研究センター）
「運動の実行・不実行に関与する大脳皮質ニューロンの同定」
- 1-18 宮地 重弘（京都大学・霊長類研究所）
「記憶のメカニズムに関わる前頭前野、側頭連合野、海馬をつなぐ神経回路の解明」
- 1-19 湯浅 茂樹（国立精神・神経センター）
「遺伝子改変マウスを用いた情動記憶消去の分子神経機構の解明」
- 1-20 小村 豊（産業技術総合研究所）
「多次元情報を収束する脳内機構」
- 1-21 菅生 康子（産業技術総合研究所）
「神経回路と情報処理の統合的解析による、側頭葉における連合学習の解明」

支援班

- 1-22 村山 繁雄（東京都老人総合研究所）
「Establishment of brain bank for aging research」
- 1-23 小林 和人（福島県立医科大学）
「行動制御を媒介する神経回路研究のためのトランスジェニックラットの開発」
- 1-24 松井 稔（東京大学・医科学研究所）
「ムスカリン性アセチルコリン受容体ノックアウトマウスによる脳機能解析モデルの開発」
- 1-25 虫明 元（東北大学・大学院医学研究科）
「インプラント用高機能集積化マルチ電極の開発」

- 1-26 小島 比呂志 (玉川大学・工学部)
「高速多点 un-caging 刺激システム開発及び神経回路機能解析への応用」
- 1-27 伊藤 浩之 (京都産業大学・工学部)
「マルチニューロンデータ解析支援環境の整備」
- 1-28 山森 哲雄 (基礎生物学研究所)
「脳科学におけるプロテオミクス手法の開発と普及」
- 1-29 岡戸 晴生 (東京都神経科学総合研究所)
「神経科学研究のためのウイルスベクターの開発」
- 1-30 飯島 敏夫 (東北大学・大学院生命科学研究科)
「標的神経回路選択的な光学的神経活動計測用分子プローブシステムと測定機器の開発」
- 1-31 崎村 建司 (新潟大学・脳研究所)
「C57BL/6 純系コンディショナルノックアウトマウス作成とその支援」
- 1-32 宮川 剛 (京都大学・大学院医学研究科)
「大規模データ解析による遺伝子改変マウスの行動テストバッテリーの標準化・効率化
マウスを用いた統合的脳研究の「ハブ」を目指して」
- 1-33 データベース委員会委員長 伊佐 正 (生理学研究所)
「統合脳データベース委員会の活動について」

第3領域 「神経回路機能」

研究項目 A 0 1 :

- 3-01 仲村 春和 (東北大・生命科学)
「中脳視蓋の層形成と回路形成機構の解析」
- 3-02 村上 富士夫 (大阪大・生命機能)
「脳の構築と神経回路形成における細胞移動の役割」
- 3-03 坂野 仁 (東京大・理)
「嗅神経回路形成の分子機構」
- 3-04 寺島 俊雄 (神戸大・医)
「上丘の層形成と視覚性神経回路形成に関するリーリンシグナル伝達系の機能」
- 3-05 田中 英明 (熊本大・医)
「新規神経ガイダンス分子 Draxin 遺伝子欠損マウスの解析」
- 3-06 玉巻 伸章 (熊本大・医)
「大脳皮質神経細胞多様性出現のメカニズムをショウジョウバエに学ぶ」
- 3-07 尾藤 晴彦 (東京大・医)
「シナプスの機能的・形態的リモデリング機構の探索」

- 3-08 五十嵐 道弘 (新潟大・医歯学)
「成長円錐のシナプス形成に關与する Ca^{2+} センサーの探索と機能解析」
- 3-09 石塚 徹 (東北大・生命科学)
「海馬スライス培養を用いた神経ネットワークの活動依存的な神経新生過程の解析」
- 3-10 小池 正人 (大阪大・医)
「神経回路形成におけるオートファジー・リソソーム系の役割の分子細胞生物学的解析」
- 3-11 匂坂 敏朗 (大阪大・医)
「インテグリンのリサイクリングによる神経軸索の伸長機構」

研究項目 A 0 2 :

- 3-12 渡辺 雅彦 (北海道大・医)
「競合的シナプス回路成熟の構造基盤と分子基盤」
- 3-13 狩野 方伸 (大阪大・医)
「発達期小脳における神経活動依存的なシナプス機能成熟」
- 3-14 高森 茂雄 (東医歯大・医歯)
「自発的グルタミン酸放出のシナプス形成・成熟・伝達効率への寄与の解明」
- 3-15 大塚 稔久 (富山大・医)
「神経回路網の成熟過程におけるアクティブ・ゾーンの役割の解明」
- 3-16 西 真弓 (京都府立医大・医)
「シナプスから核へのシグナル伝達」
- 3-17 小島 正巳 (産総研)
「PrecursorBDNF によるシナプス退縮のメカニズムとその生理的役割」
- 3-18 畠 義郎 (鳥取大・医)
「視覚野神経回路の経験依存的形態変化」
- 3-19 真鍋 俊也 (東京大・医科研)
「シナプス伝達のメタ可塑性を制御する分子機構の解明」
- 3-20 平井 宏和 (群馬大・医)
「デルタ 2 グルタミン酸受容体の細胞内信号伝達経路の解明」
- 3-21 安田 浩樹 (大阪大・医)
「カンナビノイド受容体の神経回路発達における役割」
- 3-22 前島 隆司 (生理研)
「神経回路の機能的発達に対する内因性カンナビノイドを介するシナプス可塑性の寄与」

研究項目 A 0 3 :

- 3-23 大森 治紀 (京都大・医)
「聴覚情報の特徴抽出と統合機構の解析」

- 3-24 澁木 克栄（新潟大・脳研）
「透明頭蓋マウス大脳皮質における高次感覚情報処理機構」
- 3-25 小田 洋一（名古屋大・理）
「後脳の分節構造にもとづいて構築された機能回路」
- 3-26 宋 文杰（大阪大・工）
「ナノプローブを用いた神経細胞の信号測定-任意の部位からの電位測定システムの開発」
- 3-27 金田 勝幸（生理研）
「黒質網様部および上丘局所回路内抑制性ニューロンの機能的相違」

第5領域 「病態脳」

- 5-01 岩坪 威（東京大学大学院薬学系研究科）
「パーキンソン病発症の分子機構：PARK8 病因遺伝子 LRRK2 の活性制御機構」
- 5-02 井原 康夫（東京大学大学院医学系研究科）
「セクレターゼの酵素学的性質の解明」
- 5-03 水野 美邦（順天堂大学大学院老研センター）
「Decline of striatal dopamine release in parkin-deficient mice revealed by ex vivo autoradiography」
- 5-04 笹井 芳樹（独立行政法人理化学研究所）
「神経難病に関わる脳幹部および大脳基底部の神経細胞への系統的な試験管内分化系」
- 5-05 柳澤 勝彦（国立長寿医療センター研究所）
「Seed 仮説に基づくアルツハイマー病の病態解明ならびに治療薬開発」
- 5-06 田平 武（国立長寿医療センター研究所）
「アルツハイマー病の免疫機序の解析と新しい治療法の開発」
- 5-07 鈴木 利治（北海道大学大学院薬学研究院）
「A 生成制御機構の解明と AD 創薬および診断法への応用」
- 5-08 有賀 寛芳（北海道大学大学院薬学研究院）
「パーキンソン病 PARK7 の原因遺伝子 DJ-1 の機能解析 創薬ターゲットとしての DJ-1」
- 5-09 荒井 啓行（東北大学大学院医学系研究科）
「アミロイド 蛋白凝集抑制作用を有するアルツハイマー病予防薬の開発」
- 5-10 玉岡 晃（筑波大学大学院人間総合科学研究科）
「アルツハイマー病脳に蓄積するアミロイド 蛋白の N 末端切断酵素 BACE1 の発現に関する研究」
- 5-11 富田 泰輔（東京大学大学院薬学系研究科）
「膜内配列切断機構の理解による新規アルツハイマー病創薬標的因子の探索」

- 5-12 新井 洋由（東京大学大学院薬学系研究科）
「24-ヒドロキシコレステロール結合蛋白質のアルツハイマー病における意義の解明」
- 5-13 西村 正樹（滋賀医科大学）
「病原性長鎖アミロイド ペプチド生成の選択的阻害による治療・予防法の開発」
- 5-14 高橋 良輔（京都大学大学院医学研究科）
「パーキンソン病におけるパエル受容体の病態生理的役割の解明」
- 5-15 木下 彩栄（京都大学医学部）
「プレセニリン機能障害によるシナプス制御機構の破綻」
- 5-16 久永 真市（首都大学東京理工学研究科）
「Cdk5の異常活性化機構の解明と抑制法開発及びアルツハイマー病細胞死への応用」
- 5-17 山口 芳樹（名古屋市立大学大学院薬学研究科）
「NMR 構造生物学による神経変性疾患の発症機構の解析」
- 5-18 森 啓（大阪市立大学大学院医学系研究科）
「アミロイド分子のPET リガンドに関する基礎医学的研究」
- 5-19 三谷 昌平（東京女子医科大学医学部）
「小胞ストレスを制御する新しいプロテアーゼ群の機能解析」
- 5-20 岩田 修永（独立行政法人理化学研究所）
「ネプリライシンの活性低下に伴うシナプス機能障害と発現調節機構の解析」
- 5-21 高島 明彦（独立行政法人理化学研究所）
「神経原線維変化形成機構」
- 5-22 樋口 真人（独立行政法人放射線医学総合研究所）
「アミロイドとミクログリアの生体画像化による抗アミロイド療法の機構解明と評価法確立」
- 5-23 村山 繁雄（東京都老人総合研究所）
「高齢者タウオパチーの臨床分子神経病理学的研究進行性核上性麻痺の
解剖部位特異性タウ沈着 第2報」
- 5-24 長谷川 成人（東京都精神医学総合研究所）
「タウ、シヌクレイン、アミロイド 蛋白を介した神経変性の解明と治療に関する研究」
- 5-25 道川 誠（国立長寿医療センター研究所）
「脳内コレステロール代謝調節によるアルツハイマー病発症の予防・治療法に関する研究」
- 5-26 三浦 正幸（東京大学大学院薬学系研究科）
「神経変性シグナルの遺伝学的解析による疾患治療ターゲットの解明」
- 5-27 祖父江 元（名古屋大学大学院医学系研究科）
「Hsp90 阻害剤によるポリグルタミン誘導性運動ニューロン障害の治療」
- 5-28 貫名 信行（独立行政法人理化学研究所）
「ハンチントン病モデルマウスにおける伸長ポリグルタミンによる
ナトリウムチャネル 4 サブユニットの転写抑制」

- 5-29 畠山 鎮次（北海道大学大学院医学研究科）
「U-ボックスタンパク質による神経変性疾患関連タンパク質の分解制御」
- 5-30 郭 伸（東京大学大学院医学系研究科）
「ALS 運動ニューロンにおける GluR2 RNA 編集異常の解析」
- 5-31 西頭 英起（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）
「ALS における変異型 SOD1 による小胞体ストレス誘導性神経細胞死分子機構」
- 5-32 岡澤 均（東京医科歯科大学難治疾患研究所）
「ポリグルタミン病態における核ストレスの解析と治療応用」
- 5-33 西澤 正豊（新潟大学脳研究所）
「劣性遺伝性脊髄小脳変性症の分子病態の解明」
- 5-34 松浦 徹（名古屋大学大学院医学研究科）
「脊髄小脳変性症 10 型の神経変性とインスタビリティー機構」
- 5-35 嘉村 巧（名古屋大学大学院理学研究科）
「異常タンパク質蓄積による神経変性疾患発症の分子機構の解明」
- 5-36 清水 重臣（大阪大学大学院医学系研究科）
「ミトコンドリアストレスを介した神経変性疾患の分子機構解明とその治療」
- 5-37 永井 義隆（大阪大学大学院医学系研究科）
「ポリグルタミン病に対する凝集阻害低分子による治療法開発」
- 5-38 佐野 輝（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）
「モデルマウスを用いた機能性精神疾患の VPS13A 遺伝子が関連する
新たな神経細胞死カスケードの解明」
- 5-39 水島 昇（東京都臨床医学総合研究所）
「神経変性疾患の病態形成におけるオートファジーの役割」
- 5-40 西川 徹（東京医科歯科大学大学院）
「統合失調症の分子病態の解明」
- 5-41 福島 順子（北海道大学医学部）
「軽度発達障害の眼球運動の研究」
- 5-42 兼子 直（弘前大学医学部）
「機能性精神疾患の皮質錐体細胞回路障害の two hit model 仮説の構築」
- 5-43 曾良 一郎（東北大学大学院医学系研究科）
「前頭前野皮質に特徴的なモノアミン神経伝達制御の認知機能障害における役割」
- 5-44 有波 忠雄（筑波大学大学院人間総合科学研究科）
「統合失調症のジェネティクス・エピジェネティクス解析に基づく疾患パスウェイ解析」
- 5-45 尾崎 紀夫（名古屋大学大学院医学系研究科）
「DISC1 結合蛋白を標的とした統合失調症の病態研究」
- 5-46 宮川 剛（京都大学大学院医学研究科）

- 「統合失調症のカルシニューリン仮説に基づいた統合失調症発症メカニズムの解明」
5-47 清野 泰（福井大学高エネルギー医学研究センター）
「脳内ノルアドレナリン神経機能の非侵襲的分子イメージングのための分子プローブの開発」
5-48 谷口 学（大阪大学大学院医学系研究科）
「DBZ/FEZ1 遺伝子欠損マウスを用いた統合失調症の発症機序の解明」
5-49 森信 繁（広島大学大学院医歯薬学総合研究科）
「エピジェネティクスによるうつ病発症・難治化の機序解明 - 神経栄養因子発現に注目して」
5-50 植田 弘師（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
「ストレス性精神疾患の可視化とナノメディシン」
5-51 松本 直通（横浜市立大学大学院医学研究科）
「ゲノムブロック異常と精神神経疾患発症素因の解明」
5-52 等 誠司（生理学研究所）
「神経幹細胞に対する気分安定薬の薬理作用と作用機序の解析」
5-53 内匠 透（大阪バイオサイエンス研究所）
「ゲノム工学を用いて作製した自閉症マウスの解析による精神機能の分子的基盤研究」
5-54 加藤 忠史（独立行政法人理化学研究所）
「双極性障害における小胞体ストレスおよびミトコンドリア機能障害の意義についての研究」
5-55 糸川 昌成（東京都精神医学総合研究所）
「グリア関連分子を候補遺伝子とした統合失調症の病態に関する分子生物学的研究」
5-56 橋本 亮太（大阪大学大学院医学系研究科）
「統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジンの遺伝子改変動物による分子病態解析」

8月23日(水)

統合シンポジウム

海馬 会場：蓬莱

大脳基底核 会場：清流

分子神経イメージング 会場：瑞雪

9:00 ~ 12:00

全体ワークショップ

会場：教育文化会館大ホール

13:00 ~ 17:00

懇親会

会場：ロイヤルホール

18:30 ~ 20:30

8月23日(水)午前 統合シンポジウム(海馬、大脳基底核、分子神経イメージング)

企画：第1領域

海馬

- 09:00-09:40 真鍋 俊也(東京大・医科研;第3領域)
「海馬におけるシナプス可塑性の修飾機構」
- 09:40-10:00 磯村 宣和(理研・BSI;第1領域)
「海馬・大脳皮質ネットワーク活動のインビボ解析法の新潮流」
- 10:00-10:20 塚元 葉子(東京都神経研;第1領域)
「海馬局所回路における同期的振動活動の発生メカニズム」
- 10:20-10:40 伊藤 功(九州大;第1領域)
「海馬神経回路の非対称性」
- 10:40-11:00 ブレイク
- 11:00-11:30 山口 陽子(理研・BSI)
「海馬記憶の計算論的研究から：最近の方向性と実験研究への期待」
- 11:30-12:00 西条 寿夫(富山大;第2領域)
「霊長類および齧歯類を用いた海馬体研究の動向」

大脳基底核

- 09:00-09:05 高田 昌彦「イントロダクション」
- 09:05-09:25 藤山 文乃(京都大;第2領域)
「大脳基底核ネットワークをパッチ・マトリックスの視点から：
Patch・Matrix, Again」
- 09:25-09:45 宮地 重弘(京都大・霊長研;第1領域)
星 英司(玉川大;第1領域)
「大脳基底核の神経回路 狂犬病ウイルスによる
越シナプス神経トレーシングを用いた解析」
- 09:45-10:05 鮫島 和行(玉川大;第1領域)
「報酬に基づく意思決定と大脳基底核の計算モデル」

- 10:05-10:25 松島 俊也（北海道大；第1領域）
「基底核と最適採餌」
- 10:25-10:40 ブレイク
- 10:40-11:10 狩野 方伸（大阪大；第3領域）
「内因性カンビノイドによる線条体シナプスの伝達調節」
- 11:10-11:30 木下 専（京都大；第4領域）
「黒質 線条体投射系におけるセブチン・スカフォールドの生理的意義とパーキンソン病との関連」
- 11:30-12:00 貫名 信行（理研・BSI；第5領域）
「大脳基底核疾患としてのハンチントン病」

分子神経イメージング

- 09:05-09:30 宋 文杰（大阪大；第3領域）
「大脳皮質聴覚野活動の時空間パターン」
- 09:30-09:55 山口 瞬（神戸大；第3領域）
「マウスの脳における遺伝子発現のイメージング」
- 09:55-10:20 森 郁恵（名古屋大；第4領域）
「線虫の神経活動のカルシウムイメージング」
- 10:20-10:45 ブレイク
- 10:45-11:10 星野 幹雄（京都大；第4領域）
「神経細胞リニエージトレーシングを用いた、神経系発生の研究」
- 11:10-11:35 樋口 真人（放医研；第5領域）
「アミロイドとミクログリアのイメージング」
- 11:35-12:00 小島 正巳（産総研；第3領域）
「遺伝子多型による脳機能調節～分子イメージングからモデルマウス解析まで～」

8月23日(水)午後 全体ワークショップ 第1部

「Integrative Research for Understanding Brain Functions:
Recent Trends in Neuroscience with Multidisciplinary Approaches」
- Functional Modules in the Cerebral Cortex -

企画：第2領域

- 13:00-13:10 Opening remarks
Minoru Kimura (Kyoto Prefectural University of Medicine)
- 13:10-14:00 Chairperson: Masayoshi Mishina (Tokyo University)
Tetsuo Yamamori (National Institute for Basic Biology, Okazaki)
"Genes specifically expressed in primate neocortical areas:
their roles and implication for evolution of the primate neocortex"
- 14:00-14:50 Chairperson: Keiji Tanaka (RIKEN)
Michael Brecht (Department of Neuroscience, Erasmus MC, Rotterdam)
"Stimulation, recording and identification of single neurons
in awake behaving animals"
- 14:50-15:20 Break
- 15:20-16:10 Chairperson: Masato Taira (Nihon University)
Ranulfo Romo (Institute of Cellular Physiology, National Autonomous University
of Mexico, Mexico City, Mexico)
" From sensory processing to decision-making"
- 16:10-17:00 Chairperson: Mitsuo Kawato (ATR)
Kuniyoshi L. Sakai (University of Tokyo, Tokyo)
"Language acquisition and brain development"
- 18:30-20:30 懇親会

8月24日(木)

第2,4領域班会議

第2領域 会場：蓬莱

第4領域 会場：瑞雪

9:00 ~ 18:00

ポスターセッション

第2、4領域 会場：黎明

脳と心のメカニズム 会場：玉葉

19:00 ~ 22:00

8月24日(木)午前、午後 合同班会議

(第2領域班会議、第4領域班会議の2つの班会議が併行して行われます)

第2領域 「脳の高次機能システム」

発表：17分 討論：8分

9:00 - 9:10 挨拶 第2領域代表 木村 實

セッション1 座長 乾 敏郎

- 09:10-09:35 泰羅 雅登 (日本大学大学院総合科学研究科)
外界を脳内に再構成する神経メカニズム - 霊長類とヒトでの研究 -
- 09:35-10:00 坂上 雅道 (玉川大学学術研究所)
直感的思考の神経メカニズム
- 10:00-10:25 深井 朋樹 (理化学研究所脳科学総合研究センター -)
神経回路の動態に基づく大脳皮質 - 大脳基底核機能連関の計算論的理解

セッション2 座長 坂上 雅道

- 10:45-11:10 田中 啓治 (理化学研究所脳科学総合研究センター -)
視覚的物体学習における下側頭葉皮質の役割とその機序
- 11:10-11:35 小松 英彦 (自然科学研究機構生理学研究所)
下側頭皮質における物体色認知のメカニズム
- 11:35-12:00 藤田 一郎 (大阪大学大学院生命機能研究科)
物体および奥行き知覚形成を支える神経基盤

昼食

セッション3 座長 藤田 一郎

- 13:00-13:25 北澤 茂 (順天堂大学医学部)
小脳型運動制御に関する研究
- 13:25-13:50 金子 武嗣 (京都大学大学院医学研究科)
大脳皮質の局所神経回路：特に運動野について
- 13:50-14:15 河野 憲二 (京都大学大学院医学研究科)
視覚的眼球運動の随意的選択機構の研究
- 14:15-14:40 福島 菊郎 (北海道大学大学院医学研究科)
視標追跡運動における視標の予測値と頭部・眼球運動システムの統合と分解の脳内機構

セッション4 座長 河野 憲二

- 15:00-15:25 設楽 宗孝 (筑波大学大学院人間科学総合研究科)
動機づけに基づく目標指向行動の脳内情報処理メカニズムの解明
- 15:25-15:50 渡辺 正孝 (東京都神経科学総合研究所)
動機づけ行動における報酬, 報酬期待関連脳部位間の機能的関係
- 15:50-16:15 木村 實 (京都府立医科大学大学院医学研究科)
大脳皮質基底核系のアクション・認知機能における動機づけの役割

セッション5 座長 渡辺 正孝

- 16:35-17:00 乾 敏郎 (京都大学大学院情報学研究科)
言語獲得と運用の脳内基盤メカニズムの解明
- 17:00-17:25 酒井 邦嘉 (東京大学大学院総合文化研究科)
文法処理を中心とする言語の脳内メカニズムの解明
- 17:25-17:35 挨拶 第2領域代表 木村 實

第4領域 「分子脳科学」

09:00-09:05 三品代表挨拶

A01班

- 09:05-09:35 能瀬 聡直 (東大理、計画)
A01班の研究概要
「特異的シナプス形成過程」
- 09:35-10:00 大隅 典子 (東北大医、計画)
「神経幹細胞の増殖と分化」
- 10:00-10:25 上村 匡 (京大生命、計画)
「樹状突起のパターン形成」
- 10:25-10:50 野田 亮 (京大医、計画)
「細胞外マトリックス・リモデリング」
- 10:50-11:00 休憩

トピックス

- 11:00-11:20 高橋 淑子 (奈良先端大、公募)
「神経冠細胞の移動制御と器官形成」
- 11:20-11:40 日比 正彦 (理研、公募)
「ジンクフィンガー遺伝子 Fez, Fezl を介した前脳形成の分子機構の解析」

A02 班

- 11:40-11:55 山森 哲雄 (基生研、計画)
A02 班研究概要
「大脳皮質ネットワークの分子制御機構の解析」
- 11:55-13:00 昼食
- 13:00-13:25 貝淵 弘三 (名大医、計画)
「CRIMP ファミリーによる神経細胞の極性制御機構」
- 13:25-13:45 岡村 康司 (生理研・統合バイオ、公募)
「ホヤに於ける新規チャネル様分子の解析」
- 13:45-14:00 森 郁恵 (名大理、計画)
「線虫感覚受容の分子細胞ネットワーク」
- 14:00-14:25 野田 昌晴 (基生研、計画)
「Nax による体液濃度感受性の細胞ネットワーク」
- 14:25-14:45 休憩

A03 班

- 14:45-15:15 三品 昌美 (東大医、代表)
A03 研究概要
「純系ゲノム背景における脳システム制御の分子解析」
- 15:15-15:40 八木 健 (阪大生命、計画)
「プロトカドヘリン分子群を用いた脳のシステム制御の解析」
- 15:40-16:05 饗場 篤 (神大医、計画)
「時空間的特異的遺伝子発現マウスを用いた小脳のシステム制御の解析」
- 16:05-16:25 鍋島 陽一 (京大医、公募)
「海馬歯状回特異的遺伝子機能改変マウスを用いた脳高次機能の研究」
- 16:25-17:45 手塚 徹 (東大医科研、公募)
「扁桃体 (Src 及び Cbl ファミリーによる
チロシンリン酸化シグナルの正負の制御と脳高次機能)」

- 17:45-17:05 川原 茂敬 (東大薬、公募)
「前頭葉(小脳特異的分子欠損マウスを用いた学習メカニズム多重性と
その制御機構の解明)」
- 17:05-17:25 喜田 聡 (東京農大、公募)
「CREB 情報伝達経路による記憶固定化制御機構の解明」
- 17:25-19:00 夕食
- 19:00-22:00 ポスターセッション

8月24日(木)夜 ポスターセッション

(第2,4領域、脳と心のシンポジウムのポスター発表が併行して行われます)

第2領域 「脳の高次機能システム」

< 計画研究者 >

A01

- 2-01 土井 隆弘、田辺 誠司、藤田 一郎 (大阪大学大学院生命機能研究科)
「Computations for fine and coarse depth discrimination
by the human stereoscopic system」
- 2-02 郷田直一、原田拓也、小川正、伊藤南、豊田浩士、定藤規弘、小松英彦
(自然科学研究機構生理学研究所)
「fMRI によるサル視覚野活動計測の試み」
- 2-03 田中 啓治 (理化学研究所脳科学総合研究センター)
「下側頭葉皮質物体カテゴリー表出分散性の検討」

A02

- 2-04 福島 菊郎 (北海道大学大学院医学研究科)
「視標追跡運動における視標の予測値と頭部・眼球運動システムの統合と分解の脳内機構」
- 2-05 松浦 清人、三浦 健一郎、瀧 正勝、田端 宏充、稲場 直子、河野 憲二、F.A. Miles
(京都大学大学院医学研究科)
「二つの正弦波縞の動きで生じるサルの追従眼球運動」
- 2-06 日置 寛之、金子 武嗣 (京都大学大学院医学研究科)
「Efficient gene transduction of neurons in the forebrain
with pseudotyped lentiviral vectors」
- 2-07 北澤 茂 (順天堂大学医学部)
「小脳型運動制御に関する研究」

A03

- 2-08 設楽 宗孝（筑波大学大学院人間科学総合研究科）
「Monkey insular cortex neurons are activated when reward might be delivered, such as occurs in gambling」
- 2-09 木村 實（京都府立医科大学大学院医学研究科）
「大脳皮質基底核系のアクション・認知機能における動機づけの役割」
- 2-10 渡辺 正孝（東京都医学研究機構）
「動機づけ行動における報酬，報酬期待関連脳部位間の機能的関係」

A04

- 2-11 坂上 雅道、Pan Xiaochuan、澤 幸祐（玉川大学学術研究所）
「推論課題遂行中のサル前頭前野ニューロンの活動」
- 2-12 勝山 成美、泰羅 雅登（日本大学大学院・総合科学研究科）
「投射性陰影による三次元運動知覚のメカニズム」
- 2-13 深井 朋樹（理化学研究所脳科学総合研究センター）
「大脳皮質ニューロンのスパイク生成と神経回路の動態：理論と実験」

A05

- 2-14 酒井 邦嘉、飯島 和樹（東京大学大学院総合文化研究科）
「MEG を用いた統語的階層処理の初期成分の計測」
- 2-15 乾 敏郎（京都大学大学院情報学研究科）
「言語獲得と運用の脳内基盤メカニズムの解明」

< 公募研究者 >

A01

- 2-16 石岡 俊之、森 悦朗（東北大学大学院医学系研究科）
「テクスチャーと主観的輪郭による形態視の神経基盤 - パーキンソン病からの検討 - 」
- 2-17 大澤 五住、西本 伸志、田中 宏喜、佐々木 耕太、石田 紹敬
（大阪大学大学院生命機能研究科）
「高次視覚受容野特性と新計測法」
- 2-18 永福 智志、大湊 絢、田村 了以、小野 武年（富山大学大学院医学薬学研究部）
「視線のポップアウト」
- 2-19 佐藤 宏道、七五三木 聡、石川 理子（大阪大学大学院医学系研究科）
「Spatiotemporal dynamics of surround suppression in cat V1: stimulus size and orientation contrast」
- 2-20 一戸 紀孝（理化学研究所脳科学総合研究センター）
「サルにおける物体認知・認知記憶に関与する2つの下側頭皮質領野（TE野・周嗅皮質）の GeneChip による遺伝子発現プロファイルの解析」
- 2-21 山本 慎也（産業技術総合研究所）

「Effects of gravitational vertical on the visual perception」

A02

- 2-22 小林 康（大阪大学大学院生命機能研究科）
「脚橋被蓋核における報酬予測誤差生成機構」
- 2-23 吉田 篤司、田中 真樹（北海道大学大学院医学系研究科）
「Antisaccade に関連したサル淡蒼球の神経活動」
- 2-24 松野 奈苗、篠本 滋（京都大学大学院理学系研究科）
「探索領野を広げた、局所変動係数 L_V によるスパイク統計解析」
- 2-25 関 和彦、武井 智彦（自然科学研究機構生理学研究所）
「把握運動の制御における脊髄ニューロンの役割」
- 2-26 田中 琢真、藤山 文乃、青柳 富誌生、金子 武嗣（京都大学大学院医学研究科）
「線条体中型有棘細胞 up-state のシナプス前膜 AMPA 受容体による開始と維持」

A03

- 2-27 河村 満、吉村 菜穂子、緑川 晶、毛束 真知子、村上 秀友、鈴木 敦命、小山 慎一
（昭和大学医学部）
「パーキンソン病における社会的認知障害」
- 2-28 松井 秀樹 共著者 沖本 直輝、大守 伊織、西木 禎一、富澤 一仁
（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）
「オキシトシンによる情動調節の分子機構」
- 2-29 尾仲 達史、高柳 友紀（自治医科大学医学部）
「視床下部背内側核の情動ストレスにおける働き」

A04

- 2-30 小森 憲治郎、池田 学、福原 竜治、田邊 敬貴（愛媛大学大学院医学系研究科）
「語または物品の脳内心像は消失するか？—意味性認知症例を通して—」
- 2-31 川崎 真弘、渡辺 正峰、奥田 次郎、坂上 雅道、合原 一幸
（東京大学大学院工学系研究科）
「視覚性短期記憶の feature binding メカニズムに関する fMRI 研究」
- 2-32 渡邊 慶、船橋 新太郎（京都大学大学院人間環境学研究科）
「Prefrontal delay -period activity contributes to the decision of saccade directions in a free-choice task」
- 2-33 筒井 健一郎、藤原 寿理、泰羅 雅登、飯島 敏夫（東北大学大学院生命科学研究科）
「行動の結果の絶対的および相対的評価に関係した脳活動」

- 4-01 榭 正幸 (筑波大学・人間総合)
「神経回路形成の動態を制御する新規細胞間シグナルの解析」
- 4-02 岡野 栄之 (慶應義塾大学・医学部)
「神経分化と可塑性の転写後レベルにおける調節メカニズム」
- 4-03 影山 龍一郎 (京都大学・ウイルス研究所)
「2時間を刻む生物時計による神経分化制御」
- 4-04 若松 義雄 (東北大学・医学系研)
「神経幹細胞の非対称分裂における細胞骨格系の制御メカニズムの解析」
- 4-05 水野 健作 (東北大学・生命科学研究科)
「神経ガイダンスとスパイン形態変化におけるアクチン動態制御の機能解析」
- 4-06 古久保 (徳永) 克男 (筑波大学・生命環境)
「ショウジョウバエキノコ体をモデルとする高次構造構築機構の分子遺伝学的解析」
- 4-07 山下 俊英 (千葉大学・医学系研)
「神経細胞死と軸索再生のシグナルのクロストーク」
- 4-08 久恒 辰博 (東京大学・新領域研)
「海馬回路網からの刺激に依存した成体神経幹細胞の運命決定機構の解明」
- 4-09 山口 正洋 (東京大学・医学研)
「神経細胞の入力依存的な生死決定の臨界期を担う分子機構の解析」
- 4-10 多羽田 哲也 (東京大学・分子研)
「ショウジョウバエ脳の記憶系、視覚系機能単位の形成メカニズム」
- 4-11 佐藤 真 (福井大学・医学部)
「フィラミン/FILIPの神経系形成に及ぼす働きについて」
- 4-12 加藤 裕教 (京都大学・生命科学研究科)
「神経軸索ガイダンス分子、セマフォリンの機能の研究」
- 4-13 星野 幹雄 (京都大学・医学研)
「変異マウスと電気穿孔法を用いた、神経細胞の特異性獲得と移動の分子機構の研究」
- 4-14 白崎 竜一 (大阪大学・生命機能研)
「交連ニューロンのサブタイプ特異的な軸索投射パターン発現の分子機構」
- 4-15 中島 欽一 (奈良先端科学技術大学院大学)
「メチル化DNA結合タンパク質群による神経系細胞分化可塑性制御機構の解析」
- 4-16 稲垣 直之 (奈良先端科学技術大学院大学)
「神経細胞が過剰な軸索の形成を抑制する分子機構の解析」
- 4-17 大内 淑代 (徳島大学)
「脳・網膜の発生分化に関与するG蛋白質共役型受容体システムの機能解明」
- 4-18 白根 道子 (九州大学・生体研)
「神経管形成における多機能シャペロンFKBP38の機能解析」

- 4-19 田賀 哲也 (熊本大学)
「中枢神経系の発生過程における神経幹細胞の運命決定機構の解析」
- 4-20 古川 貴久 (大阪バイオ研)
「網膜視細胞発生に関わる分子の網羅的解析」
- 4-21 見学 美根子 (独立行政法人理化学研究所)
「中枢神経系ニューロン樹状突起分枝形成のダイナミクスとシグナルの解析」
- 4-22 吉原 良浩 (独立行政法人理化学研究所)
「終脳特異的細胞接着分子テレンセファリンによる樹状突起フィロポディア形成の分子機構」
- 4-23 小椋 利彦 (東北大学・加齢医学研究所)
「新規遺伝子機能から見た神経発生の分子基盤」
- 4-24 佐々木 純子 (秋田大学・医学部)
「イノシトールリン脂質の蓄積による神経細胞死亢進機序の解明」
- 4-25 飯野 雄一 (東京大学)
「線虫の化学走性学習に関わる分子パスウェイの機能解析」
- 4-26 少作 隆子 (金沢大学・医学系研)
「シグナルの同期性を検出する分子メカニズム」
- 4-27 木下 専 (京都大学・医学研)
「脳特異的 Sept 7 欠損マウスを用いた神経系セプチンスカフォールドの機能解析」
- 4-28 向井 秀幸 (神戸大学)
「蛋白質リン酸化酵素 PKN1 ノックアウトマウスを用いた記憶・学習機構の解析」
- 4-29 石原 健 (九州大学・理学研)
「情報の統合と連合学習の素過程の制御を担う神経回路と分子機構」
- 4-30 森 望 (長崎大学・医歯薬)
「後シナプス機能制御におけるリン酸化チロシンアダプターの役割」
- 4-31 稲谷 大 (熊本大学・医学薬学研)
「ヘパラン硫酸による視神経投射機構の解明」
- 4-32 中里 雅光 (宮崎大学・医学部)
「ペプチドーム解析を応用した脳機能調節に作用する新規神経ペプチドの探索と機能研究」
- 4-33 柚崎 通介 (慶應義塾大学・医学部)
「シナプス形成と可塑性を制御する新しい分泌性因子シナプトトロフィン」
- 4-34 小西 史朗 (徳島文理大学・香川薬学部)
「伝達物質受容体クロストークを仲介する分子機構の解明」
- 4-35 伊藤 誠二 (関西医科大学・医学部)
「神経可塑性に伴う NMDA 受容体複合体の再編成と活性化に関与する機能分子の探索」
- 4-36 椎名 伸之 (国立遺伝学研究所)
「シナプス可塑性における局所的翻訳を制御する分子メカニズムの解析」

- 4-37 久保 義弘 (生理学研究所)
「ATP受容体チャネルP2Xの発現状況に依存する構造と機能の変化の解析」
- 4-38 深澤 有吾 (生理学研究所)
「シナプス可塑性に伴うシナプス後膜内神経伝達物質受容体局在変化の高解像度解析」
- 4-39 福田 光則 (東北大学・生命科学研)
「ミオシン a 受容体Slac2-cと微小管モーターの相互作用」
- 4-40 系原 重美 (独立行政法人理化学研究所)
「瞬目条件反射学習における小脳深部核の2峰性遺伝子転写制御の解析」
- 4-41 荒木 敏之 (国立精神・神経センター)
「シナプス形成・シナプス伝達機序における新規ユビキチンリガーゼファミリーの機能」
- 4-42 富永 真琴 (岡崎統合バイオ)
「視床下部TRPチャネルの温度センシング機構」
- 4-43 深田 正紀 (国立長寿医療センター研究所)
「PSD-95パルミトイル化酵素によるAMPA受容体動態制御機構の解明」
- 4-44 井ノ口 馨 (三菱化学生命科学研究所)
「アクチビンによるシナプス形態の可塑性と記憶形成の制御機構」
- 4-45 森 寿 (富山大学・医学薬学研)
「扁桃体特異的遺伝子操作マウスの作成と解析」
- 4-46 平野 丈夫 (京都大学・理学研)
「反射性眼球運動を用いるシナプス機能制御分子の生体でのはたらきの解析」
- 4-47 杉本 幸彦 (京都大学・薬学研)
「プロスタノイドによるグルタミン酸増強作用の分子機構」
- 4-48 小山田 正人 (京都府立医大・医学研)
「多光子CALIを用いたマウス脳における蛋白質機能の時空間特異的阻害法の開発」
- 4-49 大島 登志男 (独立行政法人理化学研究所)
「誘導型コンディショナルKOを用いたCdk5の脳機能における役割の解明」
- 4-50 高橋 正身 (北里大学・医学部)
「PKC依存的なリン酸化部位に変異を加えたSNAP-25ノックインマウスの解析」

脳と心のメカニズム

- bm-01 春野 雅彦 (ATR 脳情報研究所)・Ganesh Gowrishar ・ Mitsuo Kawato (ATR CNS)
「Differential neural correlates of force control and muscle co-contraction control revealed by fMRI with on-line EMG feedback」
- bm-02 柴田 和久(奈良先端大, ATR 脳情報研)・山岸 典子(NICT, ATR 脳情報研)・郷田 直一(ATR

脳情報研)・吉岡 琢(NiCT, ATR 脳情報研)・山下 宙人(ATR 脳情報研)・佐藤 雅昭(ATR 脳情報研, NiCT)・川人 光男(ATR 脳情報研, 奈良先端大)

「Feature attention modulates activity in feature sensitive visual areas before stimulus onset: An fMRI constrained MEG study」

bm-03 太田 桂輔・青西 亨(東京工業大学大学院総合理工学研究科)

「位相応答曲線の統計的推定」

bm-04 高橋 英之(北海道大・情報科学研究科)・豊巻 敦人(北海道大・医学研究科)・石川 悟(北星学園大文学部)・室橋 春光(北海道大・教育学研究科)・大森 隆司(玉川学園学術研究所)

「意図性の帰属が対象行動の不確実性評価を変動させる」

bm-05 一杉 裕志(産業技術総合研究所 脳神経情報研究部門)

「SOM のネットワークによる前頭葉の計算論的モデルの構想」

bm-06 小塩 暁人・荒木 修(東京理科大学大学院 理学研究科)

「快・不快を聴いた時の前頭前部における脳波の相関解析」

bm-07 森藤 大地・乾 敏郎(京都大学情報学研究科)

「統語獲得のニューラルネットワークモデル」

bm-08 須藤 珠水(東京工業大総合理工学研究科・ソニーコンピュータサイエンス研究所)・茂木 健一郎(ソニーコンピュータサイエンス研究所)

「プロトタイプ効果に基づくカテゴリー認知機構」

bm-09 山崎 由美子(独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター象徴概念発達研究チーム)・難波 裕美・入来 篤史(独立行政法人理化学研究所)

「ニホンザルによる感覚性道具使用学習」

bm-10 西村 悠・酒井 宏(筑波大学大学院システム情報工学研究科)

「周囲抑制・促進効果を基とした図方向決定モデルとその検討」

bm-11 我妻 伸彦・酒井 宏(筑波大学大学院システム情報工学研究科)

「Spatial Attention in Early Vision Alternates Direction-of-Figure」

bm-12 Xu Yizhong, Akira Toyomura, Sachiko Koyama, Shinya Kuriki (Research Institute for Electronic Science, Hokkaido University)

「An effect of frequency-altered feedback on speech production in Chinese and Japanese speakers」

bm-13 澁谷 大輔(奈良先端科学技術大学院大学, ATR 脳情報研)・木村 真弘((株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン, ATR 脳情報研)・山下 宙人・Alex Harner(ATR 脳情報研)・天野 薫(ATR 脳情報研, NTT コミュニケーション科学基礎研)・神谷 之康(ATR 脳情報研)

「MEG による手指運動パターンのデコーディング」

bm-14 内田 肇(奈良先端科学技術大学院大学, ATR 脳情報研)・神谷 之康(ATR 脳情報研)・谷口 まき・才脇 直樹(奈良女子大)

- 「fMRI 画像を用いた人工触感のデコーディング」
- bm-15 渡辺 富夫 (岡山県立大学情報工学部情報システム工学科)・山本 倫也・神代 充 (岡山県立大学)
- 「コミュニケーション機能の発達における「身体性」の役割：
身体的コミュニケーションシステムの研究開発」
- bm-16 西田 京介 (北海道大)・石川 悟 (北星学園大学)・山内 康一郎・島田 章平 (北海道大)
- 「ヒトはどのように環境変化に気が付くか？ ~ 確信度に基づいた環境変化検出仮説 ~」
- bm-17 古屋 晋一・木下 博 (大阪大学大学院 医学系研究科)
- 「長期訓練がピアノ打鍵動作の運動制御に及ぼす影響について」
- bm-18 土井 隆弘・田辺 誠司・藤田 一郎 (大阪大学大学院生命機能研究科認知脳科学研究室)
- 「Computations for fine and coarse depth discrimination
by the human stereoscopic system」
- bm-19 黒崎 康介 (北海道大学 大学院情報科学研究科)・大森 隆司 (玉川大学 学術研究所)
- 「幼児における語意学習バイアスの計算論的モデルの提案と
シミュレーションによるその検証」
- bm-20 岩野 孝之 (産業技術総合研究所脳神経情報研究部門)・山本 慎也 (産業技術総合研究所)
- 「足指触覚刺激における一方向性の誤同定」
- bm-21 中谷 裕教・C. van Leeuwen (理化学研究所脳科学総合研究センター認知動力学研究チーム)
- 「Blinks and perceptual switching in an ambiguous figure」
- bm-22 小山 慎一 (昭和大医学部神経内科)・緑川 晶 (中央大文学部)・鈴木 敦命 (東京大)・
日比野 治雄 (千葉大工学部)・河村 満 (昭和大医学部神経内科)
- 「人種失認? の 61 歳女性例」
- bm-23 鈴木 敦命 (東京大学大学院)・河村 満 (昭和大医学部神経内科)
- 「数理心理モデルによる意思決定の個人差の解析」
- bm-24 豊巻 敦人 (北海道大学医学研究科)・高橋 英之 (北海道大学情報科学研究科)・室橋 春光
(北海道大学教育学研究科)
- 「Error Feedback Negativity は何を反映するか? 誤答検出の time course」
- bm-25 豊村 暁 (北海道大学電子科学研究所 / JST)・小山 幸子・宮本 環・寺尾 敦 (北大)・
大森 隆司 (玉川大)・室橋 春光・栗城 眞也 (北大)
- 「聴覚フィードバック制御の神経基盤: Sparse fMRI 研究」
- bm-26 小川 昭利 (理化学研究所脳科学総合研究センター象徴概念発達研究チーム)・Corrado
Corradi-Dell'Acqua 1,2・Kenichi Ueno 3・Kang Cheng 3・Raffaella I. Rumiati 1,2・Atsushi
Iriki 1
1. Laboratory for Symbolic Cognitive Development, RIKEN BSI
 2. Cognitive Neuroscience Sector, International School for Advanced Studies
 3. Laboratory for Human Brain Mapping, RIKEN BSI

- 「Effects of shifting self-perspective: an fMRI study」
- bm-27 伊達 章 (宮崎大学工学部)・倉田 耕治 (琉球大学 工学部)
「新生する海馬神経細胞についての連想記憶モデルによる考察」
- bm-28 竹市 博臣 (理化学研究所仁科加速器研究センター産業連携チーム)・小山 幸子 (北海道大学電子科学研究所)・眞溪 歩 (東京大学新領域創成科学研究科)・Andrzej CICHOCKI (理化学研究所脳科学総合研究センター)
「聴覚野におけるリアルタイム音声言語 (談話) の処理の脳波を用いた検討」
- bm-29 鹿内 学・石井 信・柴田 智広 (奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科)
「ヒトの視覚における非周期的時系列の予測」
- bm-30 松本 有央 (産業技術総合研究所脳神経情報研究部門)・赤穂 昭太郎・菅生 (宮本) 康子 (産業技術総合研究所)・岡田 真人 (東京大学)
「側頭葉ニューロン集団活動のクラスタリングと次元圧縮の同時実行アルゴリズムの開発」
- bm-31 土岐 茂・岡本 泰昌、小野田 慶一、木下 亜紀子、山脇 成人 (広島大学大学院精神神経医科学)・吉田 弘司 (比治山大学現代文化学部社会臨床心理学科)
「Unconscious defense style predicts activity in neural circuits associated with unconscious emotion processing」
- bm-32 廣中 直行・板坂 典郎・田中 智子・高野 祐治・高橋 伸彰・小泉 美和子 (科学技術振興機構 ERATO 下條潜在脳機能プロジェクト)
「依存性薬物の嗜好形成に関わる脳内機構の検索」

8月25日(金)

サテライトシンポジウム

脳と心のメカニズム 会場：瑞雪

9:00 ~ 12:00

8月25日(金)午前 サテライトシンポジウム

「感覚認知の計算理論とダイナミクス」

Dynamic Computation for Sensory Cognition

企画：第2領域、脳と心のメカニズム

- 09:00-10:00 David Heeger (New York University)
"Traveling Waves in Visual Cortex during Binocular Rivalry"
- 10:00-10:15 Break
- 10:15-11:05 立花 政夫 (東京大学)
「網膜における同期的・周期的スパイク発火の機能的意義」
- 11:05-11:55 倉田 耕治 (琉球大学)
「グリッド細胞の受容野を再現する自己組織化モデル」